

川柳

雅号「小市民」

(二〇一九年作句)

誕生日

いつものように

皿洗い

騒音も

我慢できれば

金入る

我が家には

犬・猫・鳥の

糞糞糞

期限切れ

食べるのいつも

私だけ

祖父母にも

美しい日は

あつたのか

言動を

助言したのに

妻ふくれ

ホテルでは

気にもかけない

北枕

古女房

ビールを買うのに

歳聞かれ

ナプキンが

オムツに代わる

もの悲し

シーミーは

サシミがあると

孫はしやぎ

手を添えず

おんツコできる

孫眩し

思いやり

あふれる妻の

視野の外

健康で

粘り強いが

尿漏れる

---

おならして

猫がやったと

古女房

多数決

弊害だけの

自民党

最低の

総理と大統領

今ここに

放射線

どちらが怖い

ほうれい線

遺憾です

政府のすること

行かんです

基地の町

最終的に

墓地の町

咳き込むと

妻はペットの

前に立ち

じいちゃんが

建てたうちでも

ばあちゃんち

食事時

テレビの正面

妻の席

皿洗い

終わったところで

妻目覚め

災害が

あつて初めて

知る町名

お遊戯に

目ウルウルの

ジジとババ

毎食後

飲む薬には

事欠かない

煽るなら

煽つて見せろ

パトカーを

引きこもり

何がなんでも

生き抜こう